

おやま 市議会だより



第260号

●主な内容

平成25年度一般会計予算総額590億円

議案とその内容……………②	一般会計予算歳出性質別推移⑤
人事案件・議員提出議案……②	市政一般質問……………⑥～⑪
審議結果一覧……………③	臨時会の報告……………⑪
委員会報告……………④～⑥	議会日誌……………⑫
一般会計予算款別一覧…………④	議会報告会のお知らせ……⑫
一般会計予算歳入款別推移…⑤	

平成25年5月1日号



小山総合公園の鯉のぼり

2月

定例会のあらまし

平成25年2月20日～3月18日

平成25年第1回(2月)定例会は、2月20日～3月18日までの27日間の会期で開かれました。本定例会では、平成25年度一般会計・各特別会計・企業会計予算案をはじめ、平成24年度一般会計・各特別会計・企業会計補正予算案、条例の制定・一部改正案などについて審議しました。

2月20日、市長から市政一般および近況について報告がありました。続いて議案48件、報告2件が上程され、提案理由の説明を受けた後、人事案件3件を可決しました。さらに、議員提案議案2件が上程され、可決しました。

2月22日、25日～27日は、19人の議員が市政に対して一般質問を行いました。

27日は上程議案に対する質疑の後、各委員会への付託を行い、これを受けて、3月1日、4日～8日に各委員会で審査を行いました。

18日には、各委員長報告が行われ、審議の結果、議案45件を可決。さらに、議案3件と議員提案議案2件が追加上程され、これらも可決し、定例会を閉会しました。

人事案件

◆監査委員の選任

小山市大字下国府塚660番地
小川 一久(新任)

昭和28年9月12日生

◆固定資産評価審査委員会委員の選任

小山市大字福良28番地

田中 實(再任)

昭和14年10月14日生

◆教育委員会委員の任命

小山市大字西黒田297番地

福地 尚美(再任)

昭和19年4月14日生

主な議案

2月定例会で議決した市長提出議案の中から、主なものをお知らせします。

◆平成25年度小山市一般会計予算

—— 予算総額は590億2千万円(新市民病院の退職手当調整金・運営費負担金・貸付金を除くと、実質は560億4695万7千円)。主な事業として住み続けたい安全・快適な環境づくりのための、地域防犯灯エスコ事業、消防庁舎建設事業、消防車両整備費、地域防犯強化事業など。健康で安心いきいき“人生”づくりのための、不妊治療費助成事業、介護予防・生活支援事業、緑の健康づくりの森整備事業など。まちの

にぎわいと明日の“元気”づくりのための、グリーンツーリズム推進事業、開運小山市共通商品券発行事業、企業誘致促進助成金交付事業など。

◆平成25年度小山市特別会計予算(10会計)

—— 各特別会計の予算総額は、国民健康保険167億7540万円、介護保険86億2190万円、後期高齢者医療13億5260万円、病院事業債管理事業4億5500万円、墓園やすらぎの森事業1億1140万円、与良川水系湛水防除事業4010万円、農業集落排水処理事業5億4330万円、小山第四工業団地造成事業3億910万円、公共用地先行取得事業1億9010万円、公共下水道事業48億1900万円。

用事業、いじめ防止推進事業、本場結城紬・渡良瀬遊水地体験学習支援事業、学校文化芸術体験事業など。

◆地方独立行政法人新小山市民病院中期目標の策定

—— 地方独立行政法人法第25条の規定に基づき、地方独立行政法人新小山市民病院が一定期間において達成すべき業務運営に関する中期目標について定める。

(中期目標の期間)平成25年4月1日から平成29年3月31日までの4年間

◆議員提出議案

定例会初日、大山典男議員ほか7名の議員から小山市議会政務活動費の交付に関する条例の制定と、小山市議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正についての議案が提出され、原案どおり可決しました。

最終日にも、大山典男議員ほか7名の議員から小山市議会委員会条例の一部改正と、小山市議会会議規則の一部改正についての議案が提出され、原案どおり可決しました。

◆小山市議会政務活動費の交

平成25年第1回定例会（2月）議員別賛否一覧

(全会一致による)

Table with 2 columns: 議案名, 議決結果. Lists 29 items including various budgets and regulations.

Table with 2 columns: 議案名, 議決結果. Lists 20 items including regulations on staff, certificates, and land improvement.

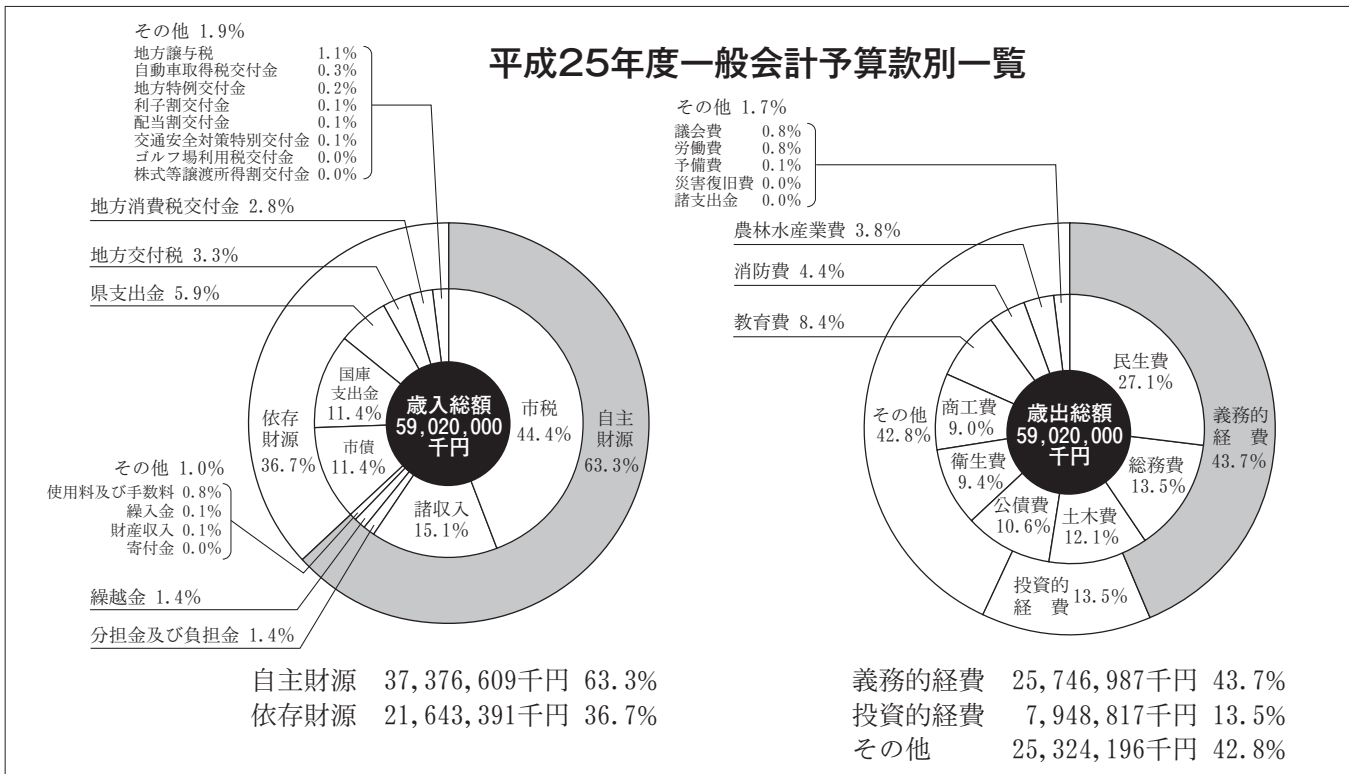
(起立採決による)

Table with 3 columns: 議員名, 議決結果, 賛反. Lists 29 items with corresponding member votes.

※ ○=賛成、×=反対、退=退席、欠=欠席 ※ 議長(野村 広元)は採決に加わりません。

付に関する条例の制定 地方自治法の改正に伴い、... 小山市議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正... 小山市議会規則の一部改正...

平成25年度一般会計予算款別一覧



委員会審査から
議案は、本会議で議決される前に、原則として各委員会で慎重な審査を経ています。委員会審査の中から、主な質疑を紹介いたします。

予算

▼平成24年度小山市一般会計補正予算(第4号)
繰越明許費のうち、小山市駅東口第2期再整備事業の事業内容は、
答 小山市駅東口新駅前広場北側エリアのタクシープールの整備工事費として予算化していますが、工事箇所の小山市用地とJR貨物用地との境界確定に時間を要したため、工事に必要な適正工期が確保できず、平成25年度に繰り越すものです。

問 企業誘致促進事業費の減額について問う。
答 今年度2社の交付予定がありました。操業が平成25年度になることから、今年度予算を減額するものです。

▼平成25年度小山市一般会計予算
問 法人市民税が減額となる主な理由は。
答 法人税率が30%から25%

総務

▼小山市職員定数条例の一部改正について
問 消防職員定数を190人
答 5%に引き下げられたことに伴い、法人税額に14・7%を乗じて算出する法人市民税についても引き下げとなるものです。

問 消防ポンプ車の新規に配備される時期は。
答 11月、12月頃実施予定の通常点検時期までには、遅くとも配備したいと思えます。

問 新規事業「学校文化芸術体験事業費」のうち、劇団四季「こころの劇場」招待公演の事業内容とは。
答 劇団四季が企業や財団の助成により、平成20年から実施しており、小山市での公演が決定しました。公演は無料ですが、各学校から文化センターまでのバス送迎費用や舞台準備費用等について市が負担をして実施します。

から195人に増員する具体的な理由は。
答 第一に消防庁舎が新しくなることに伴い通信指令課の夜間体制を1人体制から2人体制にすること、次に定数外となっていた派遣職員が戻ること、最後に今後増加する退職者に早期対応するために職員定数を増員するものです。

▼小山市職員の給与に関する条例の一部改正について
問 条例改正の内容は。
答 平成17年度人事院勧告による給与引下げに対し経過的に実施されていた現給保障額を段階的に廃止し、抑制されている昇給を若年層中心に回復させるものです。また、平成19年度から実施されている主査級以上の給料引下げを平成26年度まで延長するものです。



建設中の消防新庁舎

■一般会計予算歳入款別推移

(単位：千円・%)

款	平成 25 年度		平成 24 年度		平成 20 年度	
	予算額	構成比	予算額	構成比	予算額	構成比
自主財源	37,376,609	63.3	34,772,863	62.4	37,090,982	70.9
市税	26,221,436	44.4	26,563,036	47.6	28,205,395	53.9
分担金及び負担金	818,968	1.4	793,022	1.4	793,252	1.5
使用料及び手数料	461,052	0.8	442,633	0.8	457,890	0.9
財産収入	58,925	0.1	65,487	0.1	92,685	0.2
寄付金	10	0.0	2,009	0.0	8	0.0
繰入金	79,816	0.1	99,651	0.2	1,356,519	2.6
繰越金	800,000	1.4	700,000	1.3	900,000	1.7
諸収入	8,936,402	15.1	6,107,025	11.0	5,285,233	10.1
依存財源	21,643,391	36.7	20,997,137	37.6	15,209,018	29.1
地方譲与税	620,001	1.1	650,001	1.2	665,000	1.3
利子割交付金	60,000	0.1	70,000	0.1	130,000	0.2
配当割交付金	45,000	0.1	50,000	0.1	140,000	0.3
株式等譲渡所得割交付金	15,000	0.0	30,000	0.1	115,000	0.2
地方消費税交付金	1,670,000	2.8	1,700,000	3.0	1,650,000	3.2
ゴルフ場利用税交付金	27,594	0.0	26,806	0.0	36,257	0.1
自動車取得税交付金	150,000	0.3	180,000	0.3	330,000	0.6
地方特例交付金	130,000	0.2	150,000	0.3	270,000	0.5
地方交付税	1,950,000	3.3	1,800,000	3.2	220,000	0.4
交通安全対策特別交付金	30,000	0.1	38,000	0.1	42,000	0.1
国庫支出金	6,755,787	11.4	6,982,621	12.5	4,781,282	9.1
県支出金	3,468,809	5.9	3,322,909	6.0	2,642,979	5.1
市債	6,721,200	11.4	5,996,800	10.7	4,186,500	8.0
合 計	59,020,000	100.0	55,770,000	100.0	52,300,000	100.0

※自主財源（市税、繰入金、繰越金、分担金及び負担金など）

※依存財源（国・県支出金、地方消費税交付金、地方譲与税、地方交付税、地方特例交付金など）

※諸収入には、地方独立行政法人新小山市市民病院退職手当調整金2,015,204千円、地方独立行政法人新小山市市民病院運営資金貸付金回収金500,000千円も含まれるため前年度より増加しています。

■一般会計予算歳出性質別推移

性質別	平成 25 年度		平成 24 年度		平成 20 年度	
	予算額	構成比	予算額	構成比	予算額	構成比
義務的経費	25,746,987	43.7	24,236,262	43.4	23,150,674	44.3
人件費	9,595,479	16.3	9,716,832	17.4	10,603,678	20.3
扶助費	9,910,364	16.8	9,427,069	16.9	6,833,476	13.1
公債費	6,241,144	10.6	5,092,361	9.1	5,713,520	10.9
投資的経費	7,948,817	13.5	8,858,382	15.9	8,164,401	15.6
普通建設事業	7,948,812	13.5	7,588,489	13.6	7,339,935	14.0
（補助事業）	(3,594,881)	(6.1)	(3,407,526)	(6.1)	(2,993,771)	(5.7)
（単独事業）	(4,353,931)	(7.4)	(4,180,963)	(7.5)	(4,346,164)	(8.3)
用地取得事業			1,269,888	2.3	824,461	1.6
災害復旧事業	5	0.0	5	0.0	5	0.0
その他（物件費など）	25,324,196	42.8	22,675,356	40.7	20,984,925	40.1
合 計	59,020,000	100.0	55,770,000	100.0	52,300,000	100.0

※人件費（議員報酬、特別職給与、職員給与、各種委員報酬、退職金など）

※扶助費（生活、教育、医療扶助など各種法令に基づき被扶助者に対して支給する費用、および市が単独で行っている各種扶助の支出額）

※公債費（市が借り入れた地方債の元利償還金および一時借入金利子の合算額。県からの借入金の返還額およびその利子も含む）

民生消防



▼小山市介護保険指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準等を定める条例の制定について

問 市の独自基準の中の非常災害対策や、人権擁護、虐待防止について、具体的な指導を考えているか。

答 非常災害対策については年2回程度の訓練の実施を考えています。人権擁護や虐待防止のための研修は、具体的には、これから検討を重ねて指導していきますが、各施設独自のものも考えられるとともに、市主催の研修では施設間での情報交換の場となることも期待できます。

▼小山市国民健康保険税条例の一部改正について

問 低所得者に対する保険税の軽減措置等の内容は。

答 低所得者に対しては、平成22年度まで所得割の6割または4割を軽減するものでしたが、平成23年度以降は7割5割、2割に変更となっています。また、会社の人員整理で解雇されるなど非自発的な離職者に対しての軽減制度も平成22年度から始まっています。

す。このほかにも減免制度があり、急激に収入の減った方や災害に遭った方など保険税の負担が困難な場合に対応しています。

▼平成25年度小山市病院事業債管理事業特別会計予算について

問 新たに設置されたこの特別会計の内容は。

答 地方独立行政法人化後の市民病院では、地方独立行政法人法の規定で地方債の直接の借入れ、返済ができません。また、独立行政法人移行前の借入れ分の返済も、設立団体である小山市が行うことになり、病院事業の地方債管理のための特別会計を設置するものです。

教育経済



▼団体営土地改良事業の施行について

問 山田沼の生物の把握と事業の内容は。

答 山田沼には沼エビが多く生息しており、沼エビがすみかとして利用できるように自然環境、生き物に優しい、フトンかご工という手法で護岸整備をする予定です。

▼平成25年度小山市農業集落

排水処理事業特別会計予算について

問 今後の農業集落排水処理事業の実施予定地区は。

答 農業集落排水事業は、地元合意形成事業のため、地元希望率が50%以上で、国土交通省、農林水産省、環境省が経済比較を実施し、集合処理が有利と判断した場合に実施します。今後、実施予定の自治会は、大谷南部地区の塚崎、六軒、荒井原、南和泉、東野田東、東野田西、豊田地区の松沼本郷、思川2・3・4房合、新倉、高福です。

▼平成25年度小山市小山第四工業団地造成事業特別会計予算について

問 小山第四工業団地の完成予定年度と面積は。

答 小山第四工業団地は、平成27年度の完成ならびに予約分譲を予定しています。工業用地として分譲する面積は、4万6200m²を予定しています。



第四工業団地予定地

建設水道



▼平成25年度小山市水道事業会計予算

問 東京電力原子力発電所事故に係る賠償金は。

答 浄水場の水質・発生土調査費と発生土処分費を東京電力に請求し、平成25年度予算では損害賠償費2594万円を含む、計3030万円を営業外収益として見込んでいます。

▼小山市下水道条例の一部改正について

問 アンモニア性窒素などを

含む下水の排除を制限する対象はどういう事業所か。

答 主に自動洗濯機を有するガソリンスタンド、自動車販売店、クーリーニング店などが制限対象と考えられます。

▼小山市水道事業給水条例の一部改正について

問 水道料金の隔月徴収とする市の考えは。

答 事務経費節減の成果として、水道料金引き下げを実施していきます。隔月検針と隔月徴収も、県内14市のうち9市が実施しており、市民の理解を得ながらさらなる経費節減を図りたいと考えています。

市政を問う

2月定例会市政一般質問

2月22日から27日にかけて、19人の議員が市政の諸問題や将来の展望などについて一般質問しました。

市債残高の今後の推移

石島 政己

問 今後大型公共事業が計画されているが、その財源としての市債発行額と市債残高の今後の推移について問う。

企画財政部長 市債残高の推移は、平成16年度の998億円をピークに毎年削減を図り、平成23年度末に935億円と、市債管理計画の目標を2年前倒して達成しました。平成24年度は消防施設や城南地区中心施設の建設等を実施したことから、949億円に、新市

新市民病院の中期計画の概要

問 4月1日から市民病院の経営が地方独立行政法人に移行するが、経営指針となる中期計画の概要について問う。

病院事務部長 中期計画の主なものとして、24時間365日救急医療の提供を行い、「断らない救急体制」の整備を、がんには地域がん診療拠点病院機能に準じた機能整備を目的とし、脳卒中には24時間体制の医療を、急性心筋梗塞には機能の拡大を、糖尿病には専門医の確保を図ります。また、医療スタッフの確保とともに、



新小山市市民病院

地域医療連携の強化に努め、地域医療支援病院の承認を目指します。さらに、経営基盤の強化に努め、中期目標期間中の累計の経常収支率100%以上の達成を目指します。

いじめ問題の対応 生井 貞夫

問 いじめ問題で、大津市は第三者調査委員会を設置し結論を出した。小山市の対応と比較して、どのように感じ、参考にしていくのか。

教育長 大津市の第三者調査委員会の提言により、本市が取り組んでいるナイトカレッツ

ジャハイパーQ.Uの活用は今後も積極的に取り組んでいかなければならないことを確認しています。また、「いじめ等防止市民会議」や「いじめゼロ子どもサミット」の実施意義に確かな方向性が得られました。危機対応では、教育委員会内における支援チームの設置や専門的スタッフの関わりが必要が示され、学校支援の在り方について、今後十分に検討が必要であることが痛感しました。

再生可能エネルギー利活用

問 再生可能エネルギーの利活用の普及促進をさせるために、計画対象やその目標値等を定めた計画を策定してはどうか。

市長 「小山市地域新エネルギービジョン」「小山市省エネルギービジョン」「小山市環境保全率先実行計画」の三つを統合した「小山市地球温暖化対策地域推進計画」を平

成24年度中に新たに策定することとしています。その中に「再生可能エネルギーの利活用促進」を掲げ、太陽光エネルギーに関して住宅用太陽光発電システムの普及拡大、大規模太陽光発電事業の促進、公共施設等への太陽光発電システムの設置促進、太陽熱の利用促進を図っていきます。太陽光発電については、発電出力、導入件数を具体的な進捗管理目標として掲げていきます。

特別支援教育サポーター 小川 亘

問 小学校・中学校に配置している特別支援教育サポーターの平成25年度の配置人数は

教育部長 平成25年度も平成24年度同様合計38人の特別支援教育サポーターを雇用することとし、平成25年度予算に4800万円を全額一般財源で計上しています。学校からは教員免許を持つサポーター採用の要望があり、平成25年度は教員免許所有者を平成24年度よりも多く配置する予定です。特別な支援を要する児童生徒数は年々増加しており、保護者から指導体制の充実を求める要望等も多く、今後と

健康医療介護総合支援センター

問 緑の健康づくりの森に整備する健康医療介護総合支援センター(仮称)の機能と利便性は。

保健福祉部長 この施設には、保健センター分館として生活習慣病健診や乳幼児健診等を行える多目的研修会場、地域包括支援センター、健康改善トレーニンングセンター、夜間休日急患センターなど、健康・医療・介護等を包括的に支援できる機能等を整備していきます。利便性としては、一次救急を担う夜間休日急患センターが新小山市市民病院に隣接していることで病態急変時に迅速に対応できること、退院後に在宅での介護・看護の利用者等はワンストップサービスにつながることで、心臓病や糖尿病等の患者が安全に運動療法を受けられる利便性があります。

定期接種ワクチンの助成 安藤 良子

問 国のワクチン行政立ち遅れで、定期接種となっていない水痘ワクチンとおたふく風

市政一口メモ

※1 地域包括支援センター

介護保険法で定められた地域住民の保健・福祉・医療の向上、虐待防止、介護予防マネジメントなどを総合的に行う機関。平成17年の介護保険法改正で制定され、市

区町村に設置される。センターには、保健師・主任介護支援専門員・社会福祉士などが置かれ、専門性を生かして相互連携しながら業務にあたる。

邪ワクチンに、市の助成を求める。

市長 平成25年4月から水痘ワクチン、おたふく風邪ワクチンの一部助成を開始し、経済的負担の軽減と乳幼児の感染予防、重症化防止を図ります。水痘ワクチンは、平成25年度は1歳から5歳未満の乳幼児約6000人、平成26年度からは1歳から2歳未満の乳幼児約1500人を対象に4000円を1回助成し、おたふく風邪ワクチンについても水痘と同様の対象者に3000円を1回助成する方向で進めています。

美術館・博物館の収蔵庫設置

問 美術館や博物館の収蔵資料劣化対策、非常時における消失・損傷対策として新たに収蔵庫施設の設置を求めたい。教育部長 現在、博物館の収蔵庫にて作品を保管して

いますが、今後増えることが予想されるので、平成25年度から3カ年計画で博物館の敷地内に、博物館と美術館共用の収蔵庫を建設する準備を進めています。平成25年度の予算に基本設計費として200万円を計上しています。

新市民病院の女性専門外来

荒川 美代子

問 新しく建設される新市民病院に女性の体や心を女性の医師が診察する「女性専門外来」を設置しては。

病院長 女性専門外来は、女性医師の診察ということが必須なので、女性医師の確保が課題となります。単なる女性医師というだけでなく、カウンセリングなどのスキルを要する人材であることが必要であり、それを可能にする女性専門外来が設置できるように女性医師の確保に努めます。

重度心身障がい者の現物給付

問 重度心身障がい者の医療費償還払い方式を現物給付にして、利便性を図るべきと思うが、市の負担額は。

保健福祉部長 現物給付を導入すると、県の補助が2分の



● あなたも「議会だより」に写真を投稿してみませんか。
● 写真は「議会だより」の発行月（1月・2月・5月・8月・11月）に合わせて小山市内の季節感のあるものを募集しています。
● あて先／小山市中央町1丁目1番1号 小山市議会事務局
問い合わせは：議会事務局（☎22）9463）までお気軽に！

学校消耗品費の増額

中屋 大

1から4分の1になり、国民健康保険への国庫負担金も減額されます。具体的には、平成21年度の対象者数が2200人で、補助対象が約2億円とすると、概ね毎年約8000万円の負担増になると考えています。

問 消耗品費は、平成21年度より年々減少している。来年度増えると聞いたが、どの程度増額になるのか。

市長 学校消耗品費は、小学校で567万5000円増の2924万4000円、中学校で165万円増の1886万4000円を計上しました。消耗品費は次年度以降もこれまで保護者等の負担となっていた経費の負担軽減を図るべく、学校規模や生徒児童数に応じた配分ができるようにしていきます。次年度以降も小山市学校管理運営費等充実適

正化委員会を継続的に開催し、適正な予算編成となるよう指導の上、各学校の状況や要望等の把握と精査に努め予算を編成します。

学校トイレの改修計画

問 来年度予算に学校トイレ改修事業として、約200万円の予算があるが、今後の改修計画はどのようになっているか。

教育部長 改修計画では、小中学校の校舎のトイレを生活様式の変化に伴い和式便器を一部洋式に変更し、明るく清潔で児童生徒が快適に使用できるトイレに整備するものです。平成25年度は、トイレ改修事業基本調査を実施し、劣化、破損状況を総合的に判断し、改修の優先順位を決定するとともに、調査結果に基づく年度改修計画および工事概算額の算定を行い、平成26年度に設計、平成27年度から改修工事を行う予定です。

小山市水環境保全計画

福田 洋一

問 用水排水対策において小山市水環境保全計画は。また水環境の考え方は。

市民生活部長 平成20年に小山市水環境保全計画を策定しており、その中で土地の保水能力の回復として、雨水幹線や調整池の整備等、地域条件に応じた雨水流出抑制の対策を講じていますが、計画の策定から5年が経過し、ゲリラ豪雨や地盤沈下等の水環境を取り巻く状況は大きく変化しているため、より人と自然に優しい安全な水を確保するために、計画の見直しをさせていただきます。

防災対策の考え

問 東日本大震災を踏まえた小山市の防災対策について考えを問う。

危機管理監 東日本大震災を踏まえ、第一に、地域防災計

画の想定を見直し、減災視点の導入・広域災害への対応等の対策を行い、第二に、情報伝達の充実のため出張所にMCA無線機29台配備等を行い、第三に、防災拠点整備として避難所となる拠点に自家発電機60台配備したほか防災備蓄倉庫の整備等を行い、第四に、応援物資確保のため関係団体と災害応援協定の締結等を行い、第五に、災害対応能力向上のため総合防災訓練等を行い、第六に、地域防災計画改定に伴い防災ガイドマップを見直し、各家庭への配布を行う等の対策を図っていきます。

仮称「こどもの国」建設 橋本守行

問 仮称「こどもの国」の建設の方向性と、趣旨目的について伺う。

市長 こどもの国は、思川豊田緑地から渡良瀬遊水地までの水と緑と大地の豊かな自然を有する思川周辺エリアを想

定し、小山総合公園を核とし整備に向けて検討しており、将来の小山市を担う子供たちの情操を豊かにし、自然体験活動を通じて命の大切さや思いやりの心を育むことを目的として、子供たちが自ら考えて遊ぶ創造活動の場、自然環境や公共施設等を活用した体験学習の場等の整備を図っていきます。

子どもの権利に関する条例

問 子供の人権侵害の状況と、子どもの権利に関する条例の制定について、小山市の考え方を伺う。

保健福祉部長 児童福祉法並びに児童虐待防止に関する法律に基づき、児童に対する人権侵害を子供虐待とし相談・援助に当たっていますが、平成24年度の家児児童相談における虐待の件数は現時点で、平成23年度より増加している状況です。

総務部長 小山市人権尊重の

社会づくり条例に基づき人権施策推進基本計画を策定し、子供の人権を最重要課題と位置づけていますが、近年子供を取り巻く環境が問題になってきていることから、子どもの権利に関する条例の制定は必要と考えています。

市道201号線改修工事

森田晃吉

問 市道201号線（レミコン通り）改修工事の進捗状況は。

建設水道部長 市道201号線道路改良事業は、県道栃木



市道201号線（レミコン通り）

小山線から市道5号線までの区間について歩道を整備する事業であり、平成22年度より国庫補助の社会資本整備総合交付金により用地買収に着手しています。昨年度までに全体の用地買収予定面積の23%を買収しており、現在交渉中の予定面積を加えると全体の48%を買収することになります。

立木地内の下水道整備

問 立木地内の下水道整備について、今後の計画は。

建設水道部長 大行寺処理分区分は平成17年度より公共下水道事業の計画区域として公共下水道汚水管渠の整備を進めており、平成24年度末時点での整備率は全体の27・4%となります。立木地内の市道1488号線から市道1184号線を通って県道栃木小山線へ出る区間の下水道整備については、平成25年度に整備を予定しています。

地域振興支所の配置

大木英憲

問 組織体制の見直しについて、各出張所へ権限・財源を委譲した地域振興支所のような組織を配置できないか。

企画財政部長 出張所機能を拡大・強化した組織については、現在策定を進めている小山市長期ビジョンの中で、総合支所的な組織を設置できるよう、また地域の実情に応じた自主性・自立性の高い主体的な行政運営が可能となるよう検討していきたいと考えています。

学校給食の今後の考え

問 今後の学校給食について、小山市の農畜産物の更なる活用と、給食費の軽減に対する予算措置ができないか。

教育部長 平成25年度から小山産コシヒカリの米飯給食回数を増やしていくとともに、小山産の食材を多く利用できる献立を工夫し、より多くの小山産の農畜産物を活用していきたいと思えます。また、学校給食にかかる費用は、学校給食法第11条に基づき、食材費は保護者が負担することになっており、未納率はごくわずかであることから、現在のところ給食費の補助は考えていません。

中心市街地の防災治安対策

植村

問 消防本部の移転および小

市政一口メモ

※2 MCA無線機

無線中継局を経由して通信を行う無線機。混信はなく、発信された音声やデータ信号は、制御局（中継局）を中継して通信相手の無線機に届けられる。グループ通信で情

報共有ができるほか、事業所と車両、車両と車両など指定した相手と一对一の個別通話も可能。

山警察署の移転計画を受け、中心市街地の防災治安対策をどのように考えているか。

消防長 火災、救急活動維持のため、消防新庁舎に配備する高機能消防指令センターの運用による通報から現場への到着時間短縮、車両の編成・出動の効率化、消防隊への支援情報の配信により、効果的な現場活動が可能となります。また、治安面では、小山警察署と連携をとり、駅周辺への防犯カメラ設置、防犯パトロール隊への支援、情報配信および各種広報啓発活動などを実施して、安全安心なまちづくりを推進していきます。

国保人間ドックの推進

問 国民健康保険人間ドックを推進させるための取り組みについて、考えを伺いたい。
市民生活部長 40歳以上の方には、生活習慣病予防のための特定健康診査の受診を勧めています。この検診と集団検診でのがん検診を組み合わせて受診することで、人間ドックの大部分をカバーすることができ、自己負担も少なくなります。

個人質問

(質問順)

オーダーメイド「賃貸型工場」
山口 忠保

問 注文に応じて工場を設計・建設し、賃貸するオーダーメイド「賃貸型工場」の導入で雇用創出効果の高い企業誘致を。経済部長 オーダーメイドによる賃貸型工場は、企業側にとっては、工場建設の初期投資の抑制、自治体側にとっては、企業立地の促進、雇用の創出においてメリットがある一方で、土地・建物に係る固定資産税の増収効果がないことや、安価な賃貸料とするため、工場建設費用について県と市が折半で補助する制度であることなど、自治体行政への影響も懸念されるデメリットもあります。平成27年度に予定している小山第四工業団地分譲の際には、新たな企業立地優遇制度の一つとして同制度の導入について検討していきたいと思えます。

消防本部縮分遺所の設置

角田 良博

問 絹地区の安全・安心な環境づくりのため、消防新庁舎

市政一口メモ

※3 オーダーメイド「賃貸型工場」
企業の注文に応じて工場を設計・建設し、貸し出す方法。企業にとつての初期投資を大幅に抑制させることができ、災害などによる損失軽減等のメリットが期待できる。

完成後に絹地区分遺所を設置していただきたい。

市長 絹地区は、小山市消防計画をもとに大谷分署および桑分署から緊急車両を出動させ対応しているものの、他地域と比べ、現場到着に時間を要しています。重篤傷病者の救命や出火建物からの延焼防止の観点から、早急に消防体制の強化を図る必要がある中で、今後は、小山市消防力適正配置検討委員会を設置し、平成25年度から消防分遺所整備に向けた検討を開始し、実現を図っていききたいと思えます。

学童保育クラブの利用料減免

青木 美智子

問 ひとり親家庭、非課税所得者の経済的負担を軽減するために学童保育クラブの利用料を減免できないか。

市長 小山市では、昼間保護者のいない児童が、安全に穏やかに過ごすことのできる学童保育クラブの充実に取り組

乙女大橋
石川 正雄

問 乙女大橋の安全対策の強化と橋の架け替えについて。建設水道部長 乙女大橋については、東日本大震災後の栃木土木事務所での点検で異常なしとの報告を受けています。平成20年度、21年度には橋梁寿命の延命工事を実施しており、県においても橋梁の長寿命化および橋梁の修繕、架設架け替えに係る費用の縮減、平準化を図ることを目的に、橋梁長寿命化修繕計画を平成22年度に策定しています。市としては、地域住民にとって日常生活を営む上での大変重要な橋であることから、長寿命化計画における早期架け替えの位置づけと、引き続き適切な維持管理を強く要望して

いきます。



乙女大橋

新田橋
大出 ハマ

問 生駒地内の新田橋の架け替えについて、老朽化しているが、市はどのような考えか。市長 新田橋は、巴波川にかけ、昭和11年の建設後、76年が経過しています。現在、川の両岸に位置する生駒、大



老朽化した新田橋

川島地区住民の協力を得て、架け替え計画における取り付け道路を含めた現況測量を実施しているところです。平成25年度中に橋の建設位置および両岸の取り付け道路の計画案を作成し、地元説明会の開催、河川管理者である県との協議調整も行っています。

エピペン講習会 岡田 裕

問 学校給食によるアレルギー症状に対応するエピペンの講習会を学校単位で、全教職員に実施できないか。

教育部長 平成20年に県主催で、養護教諭や栄養士を対象に講習会を実施しました。その後、各学校において全教職員が対応できるように、使用方法の講習会を開催しています。

教育長 教員や保護者を対象に、エピペンの使用方法などについての講習会を予定しています。

国保財政の課題と対策 荻部 勉

問 国民健康保険税が増額となるが、医療費増加、国保税減少等の要因から今後の課題や対策をどう考えているか。

市民生活部長 国保財政は、高齢化や医療の高度化等により保険給付費が増える一方で、低所得者や無職者の加入割合が高いことなどから、税収確保が厳しい状況となっています。安定化のため、単年度収支の改善を目指すことが必要です。現在国保税収納率向上特別対策事業を立ち上げ、収納率向上のための取り組みを強化しています。

渡良瀬遊水地の活用推進事業 篠崎 佳之

問 ラムサール条約湿地登録渡良瀬遊水地の賢明な活用推進事業の事業内容について。

企画財政部長 第2調節池を中心とする周辺地域の治水確保をはじめ、渡良瀬遊水地関連振興計画を策定するものです。全庁的な取り組みとして、庁内に計画策定プロジェクトを設置したところで、平成25年度に本計画に基づき、第2調節池とその周辺地域の将来像を明確化することにより、同地域の活性化による産業振興、地域振興を推進するとともに、平成25年度を初年度とする渡良瀬遊水地活用5カ年計画もあわせて策定していきます。

臨時会の報告

第2回臨時会の報告

4月1日、市議会臨時会が開催されました。地方独立行政法人新小山市市民病院中期計画の認可について議案が提出され、原案どおり全会一致で可決しました。

◆議案第52号

地方独立行政法人新小山市市民病院中期計画の認可について
4月1日付、小山市市民病院の地方独立行政法人移行に伴い、地方独立行政法人新小山市市民病院の中期計画について、地方独立行政法人法第26条第1項の規定による許可申請があつたため、認可することについて、同法第83条第3項の規定により議会の議決を求めるもの。
(中期計画の内容)
中期計画の期間 平成25年4月1日から平成29年3月31日までの4年間 ほか
(中期計画の施行日)
平成25年4月1日

第3回臨時会の報告

4月9日、市議会臨時会が開催されました。平成25年度小山市一般会計補正予算(第1号)について議案が提出され、提案理由の説明を受けた後、議員から質疑、討論があり、起立採決となりましたが、賛成多数で原案どおり可決しました。

◆議案第53号平成25年度小山市一般会計補正予算(第1号)について

小山広域保健衛生組合が宮城県の株式会社県南衛生工業と、平成17年6月から裁判で争っているコンポスト搬出等請求事件に関連して補正するもの。搬出費用47億円のうち約25億円を組合の財政調整基金で充て、残りの約22億円について構成市町で負担するため、小山市分の14億3680万円を歳入歳出予算の総額にそれぞれ追加する。
(補正後の予算総額)
604億5680万円

(起立採決による)

議員名		議案名	議決結果	賛反 成対	大木 英憲	福田 幸平	植村 一	野原 勇一	荻部 勉	荒井 覚	篠崎 佳之	小林 英恵	森田 晃吉	橋本 守行	岡田 裕	福田 洋一	中屋 大	安藤 良子	山野井 孝	大出 ハマ	小川 亘	荒川美代子	石川 正雄	青木美智子	関 良平	生井 貞夫	塚原 俊夫	角田 良博	石島 政己	野村 広元	大山 典男	山口 忠保	
議案名																																	
第53号	平成25年度小山市一般会計補正予算(第1号)	原案可決	19:9	×	×	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	×	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

※ ○=賛成、×=反対、退=退席、欠=欠席 ※ 議長(野村 広元)は採決に加わりません。

第2回小山市議会報告会について

小山市議会では、議員が地域に出向き議会活動状況を市民の皆様に報告・説明し、意見交換を行う『議会報告会』を実施いたします。

議会報告会開催日程

日 時	会 場
5月20日(月) 午後7時	小山東出張所
5月20日(月) 午後7時	絹公民館
5月21日(火) 午後6時30分	小山城南 市民交流センター
5月21日(火) 午後7時	豊田公民館
5月22日(水) 午後7時	間々田 市民交流センター
5月22日(水) 午後7時	桑公民館

※会場の地域に関係なく、どの地域の報告会に参加いただいても結構ですので、お気軽にお越しください。

次回定例会の予定

6月5日(水)	本会議(開会・議案上程)
6月7日(金)	本会議(一般質問)
6月10日(月)	本会議(一般質問)
6月11日(火)	本会議(一般質問)
6月12日(水)	本会議(一般質問・付託)
6月14日(金)	委員会
6月17日(月)	委員会
6月18日(火)	委員会
6月19日(水)	委員会
6月27日(木)	本会議(採決・閉会)

※正式な日程は、後日開催する議会運営委員会にて決定しますのでご了承ください。

平成25年第1回定例会の傍聴者数

2月定例会の傍聴者数は、本会議 105 人でした。

2月20日=2人	22日=13人
25日=11人	26日=57人
27日=19人	3月18日=3人

議会日誌

- ▽5日 議員説明会
- ▽1日 (2月) 教育経済常任委員協議会給食調査(大谷南小)
- ▽31日 議会運営委員会/政務活動費等検討委員会/会派代表者会議
- ▽30日 育経済常任委員協議会給食調査(美田中)
- ▽29日 議会広報委員会/議員説明会
- ▽25日 (1月) 定例懇談会/政務活動費等検討委員会
- ▽20日 議会運営委員会
- ▽15日 議員説明会
- ▽14日 政務活動費等検討委員会/議員全員協議会/議会運営委員会/議員説明会/議会報告会運営委員会
- ▽11日 議会運営委員会
- ▽10日 議会報告会運営委員会
- ▽7・8日 予算審査特別委員会
- ▽6日 建設水道常任委員会
- ▽5日 教育経済常任委員会
- ▽4日 民生消防常任委員会
- ▽1日 (3月) 会派代表者会議
- ▽27日 議会報告会運営委員会
- ▽26日 議会報告会運営委員会
- ▽25日 議会運営委員会
- ▽20日 議会報告会運営委員会
- ▽18日 議員説明会
- ▽21日 小山市民病院整備対策特別委員会/議員説明会
- ▽12日 (2月) 高槻市(大阪府)4名
- ▽15日 豊橋市(愛知県)1名
- ▽14日 小山市開発行為の許可基準に関する条例について

視察来訪

- ▽12日 高槻市(大阪府)4名
- ▽15日 豊橋市(愛知県)1名
- ▽14日 小山市開発行為の許可基準に関する条例について



▼東日本大震災からはや二年が経ちました。福島第一

2月市議会定例会では、平成25年度予算等を審議しました。一般会計総額590億円余りの新予算を可決し、さらに平成24年度の一般会計追加補正24億7千万円を可決しました。

議会は、予算が市民の皆さまのために有効に使われるよう、しっかりと検証していかねばなりません。議員改選後三年目に入りますので、議会・議員が一層のレベルアップを図り、市民の皆さまに信頼される議会を目指します。

(塚原)

